

平成19年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
(専門職学位課程) 入学試験

論文試験問題
(150分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が1～6頁であること、答案用紙が3枚（問題Ⅰ、問題Ⅱ－1・2、問題Ⅱ－3）あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、3枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができます。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始後30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

問Ⅰ 以下の文章に示されたランディ・バーネットの説について、問題点を3点あげ、それぞれについて、あなたの意見を述べてください。[配点30点]

(法律の専門的知識を問うものではありません。)

[問Ⅰの文章]

出典；森村進『自由はどこまで可能かーリバタリアニズム入門』（講談社現代新書、2001年）90～91頁からの抜粋。

(＊問題文の掲載を省略します。)

問Ⅱ 以下の論文を読んで、次の問いに答えてください。[配点70点]

(温暖化ガス削減や環境税等についての専門的知識を問うものではありません。)

(問Ⅱ－1)

下線を引いた①及び②の部分の意味をそれぞれ説明してください。

①は記事本文4段目19行目から21行目までの「だが米企業は」ではじまる1文。

②は同5段目30行目から34行目までの「この税はまた」ではじまる1文。)

(問Ⅱ－2)

筆者は、温暖化ガス排出量削減のための方策として環境税方式を提案していますが、筆者の提案理由を600字以内で分かりやすく説明してください。

(問Ⅱ－3)

筆者が主張する環境税方式について問題点を3点あげ、それぞれについて、あなたの意見を述べてください。

[問Ⅱの論文]

出典；ジョゼフ・スティグリッツ（コロンビア大学教授）『温暖化ガス削減 環境税で』（日本経済新聞2006年7月4日朝刊・経済教室）

(＊問題文の掲載を省略します。)

以上